ポスター発表

2025年11月1日(土) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-24] 欧州諸都市におけるタイニーフォレストの立地分析－協働による緑化と環境教育の観点から

*新保 奈穂美[1]、水内 佑輔[2] (1. 東京大学空間情報科学研究センター、2. 金沢大学融合研究域)
キーワード：都市緑地、アーバンフォレストリー、市民参加、生態系保全、環境教育

欧州では、市街地内にパッチ状の小さな森（タイニーフォレスト）を生み出す取り組みが進んでいる。これにより、雨水浸透や気温低減、生態系保全を図るとともに、植林や生物多様性評価に関する市民参加の機会を提供し、環境教育に貢献している。しかし、NGOや市民団体、自治体が都市内のどのような空間に植林をしているのかは体系的に明らかになっていない。そこで本研究では、オランダ・英国・オーストリアの諸都市を対象に、タイニーフォレストの立地分析を行う。具体的には、自治体提供のオープンデータをGISで分析することで、タイニーフォレストの従前土地利用や周辺土地利用、教育機関など関係施設との位置関係を明らかにする。さらに設立者へのインタビューも行うことで、立地の意図も明らかにする。得られた成果は、都市部での協働型緑化・緑地維持管理方策や市民の環境教育のあり方を検討するために有用な知見となる。

©一般社団法人地理情報システム学会